

事務事業評価シート(平成22年度)

(義務的事業)

(A面)

1 事務事業の概要 <Plan①>		担当課	課長名	記入者
		教育総務	原 寛	宮原文隆
事務事業名		新規・継続	事業開始年度	完了予定年度
埋蔵文化財事業		新規	年度	年度
		継続	○ H19以前	○ 未定
事務事業の体系				
計画 掲載	多可町総合計画	(章) 2 笑顔でつつむ、あったかいまち	(節) 6 地域文化の振興	
	個別計画	(基本計画) 文化財の保護・周知		
根拠法令・条例・要綱等		事業区分(該当する区分に「○」)		
文化財保護法、多可町文化財保護条例		ソフト事業	施設の維持管理	
		○ 義務的事業	内部管理事務	
事務事業の具体的内容		建設・整備事業	計画などの策定	
埋蔵文化財発掘調査、整理調査、分布調査等を円滑に推進する		補助金の支給	○ 有	無
		委託	全部委託	○ 一部委託
			委託なし(全部直営)	

2 事務事業の目的 <Plan②>		
対象(働きかける相手・誰が・もの)	受益者(誰を・何を)	意図(どういう状態にしたいのか)
職員・住民	住民	埋蔵文化財の保護・周知・活用を図る

3 事務事業にかかる予算細目 <Plan③>		会計名	一般	会計
細目名	文化財保護事業	細目名		細目名
予算 コード	款 項 目 節 10 5 6 1	予算 コード	款 項 目 節	予算 コード

4 事務事業実施にかかるコスト <Do①>						
事務事業・人員		単位	21年度 決算	22年度 実績(見込)	23 年度 計画	備 考 (全体事業費など)
総 コ ス ト			19,105	28,146	43,577	・八千代5号線発掘調査 ・間子1号線発掘調査 ・豊部熊野部発掘調査 ・中安田、西安田地区圃場整備発掘調査ほか
コスト の内訳	直接事業費	千円	5,307	15,084	30,332	
	所属内間接費		338	203	386	
	人件費		13,460	12,859	12,859	
	投入人員	人/年	0.81	0.81	0.81	
	正職員 嘱託員		2.70	2.70	2.70	
財源 内訳	国・県支出金		1,650	1,650	1,950	【特定財源内訳】 調査負担金23,960 緊急雇用負担金1,700
	地方債	千円	0	0	0	
	その他特定財源		16,940	16,740	25,660	
	一般財源		1,039	9,756	15,967	

5 事務事業の手段<Plan④>と活動指標 <Do②>							
事務事業を構成する業務		手段 (事務事業整理シートより)	活動指標 (手段の数値化)	単位	21年度 実績	22年度 見込	23年度 目標
1	発掘調査	発掘調査	発掘した箇所数	箇所	8	8	6
2	整理作業	整理作業	報告書の刊行	冊	3	4	2
3	分布調査	分布調査	遺跡地図の追加箇所数	箇所	5	1	5
4							
5							

(義務的事業) (B面)

6 事務事業の実績 <Do③>		事務事業名 [埋蔵文化財事業			備考 (成果指標の考え方・計算方法)
成果指標(意図の数値化)	単位	21年度 実績	22年度 実績(見込)	23 年度 目標	
報告書の刊行	冊	3	2	4	発掘調査によって出土した遺物・図面・写真の整理を実施し、多可町内の新たな歴史の解明をはかる手段として、報告書を刊行する。

7 事務事業の事後評価 ＜Check＞				(義務的事业)					
チェック項目				該当項目に「○」				担当の把握している課題	
妥当性	サービス水準の妥当性	事業開始時から社会環境の変化は	ない	○	ある				
		環境変化によるサービス水準の見直しの余地は	ない	○	ある				
		他市町と比較してサービス水準の見直しの余地は	○	ない	ある		把握なし		
	連携の可能性	他課で類似の事業は	○	ない	ある				
		他の事業と統合できる可能性は	○	ない	ある		あるが困難		
		民間や他の行政機関と連携できる可能性は	○	ない	ある		あるが困難		
効率性	手段・プロセスの効率性	市民団体・ボランティアなどと協働できる余地は	○	ない	ある		あるが困難		
		事務事業を構成する業務に見直しの余地は	○	ない	ある				
		コスト削減の観点から実施方法を見直す余地は	○	ない	ある				
		サービス向上の観点から実施方法を見直す余地は	○	ない	ある				
		(委託している場合)業者選定や契約方法の変更によるコスト削減の余地は	○	ない	ある				
		受益者負担を見直す余地は	○	ない	ある				
市場化の可能性		既に全部委託済		更なる委託化が可能である		委託化の余地があり		○	委託化は不可能
		市場化テストの導入について検討する余地がある				市場化テストの導入を検討する余地はない			
改善の可能性			1.改善の余地はない			○	2.改善の余地がややある		
			3.改善の余地が多い				4.抜本的な見直しが必要		

事務事業評価書

8 改善提案と今後の改善の方向性 <Action> 埋蔵文化財事業

職場からの意見(担当者)									
(課題の解決についての提案など) 発掘調査に際し、その成果を地元に還元するような現地説明会や歴史セミナーを開催し、わかりやすく伝える。 また、一方で専門的であるが基礎資料となる報告書を速やかに刊行できるよう事前に調整を努めたい。									
担当課長評価									
(課長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 発掘された埋蔵文化財は現在、町内4か所に分散して保管しているが、後世に伝えるよう十分な補完管理を引き続き行いたい。 発掘調査の結果については、現地説明会を開催するなどその歴史を地域に明らかにし、先人たちの偉大な文化を学んでもらい、ふるさとを大好きになってもらいたい。									
所管評価	○	1. 重点的に継続		2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討	
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了	内部評価		3
教育長評価									
(教育長としてこの事業をどのようにしていきたいか) 現状のまま継続していく。									
事業評価		1. 重点的に継続	○	2. 現状のまま継続		3. 内容を見直しながら継続		4. 縮小を検討	
		5. 統合・連携を検討		6. 休止・廃止を検討		7. 終了・完了			
評価委員コメント									
積極的に現地説明会を開催し、ふるさとを愛する心を育てるためのいい機会として欲しい。									